

会員からの声



～新たにわかったこと～

コロナ禍で多くの新たな事業が実施された一方、経済、イベント関係の事業は実施できなかったものが多い。その分の予算が他に回せる

土木費「橋梁長寿命化事業」について。国からの補助金は3億円弱だが、歳出は約5億円。公共施設等総合管理計画により前倒しで進められている昨年10月和歌山で水道橋の崩落があった。君津市も高度経済成長期に作ったものが多く老朽化している

きみなびクーポンもコロナ交付金を使った事業だった

コロナ禍で国から9億円超の交付金があり、君津市独自の事業に使われている



～話を聞いて思うこと～

国庫支出金は今回のコロナ対応にとって、地方財政の特別手当として大変に有効に機能していることは理解できた。この国庫支出金は、どの様な算定の考え方で各市町村へ割当額を決めているのかと思った。

コロナを機に、デジタル技術の導入をして、ハード面を強化した分野に関して、今後、ソフトの整備に、またお金がかかるという事をしっかり理解しておかなくては行けない。

コロナの交付金で始めた事業を、数年続けていき、経常的経費になってしまうと、今後の市の財政を圧迫してしまうのだということを、私たち市民も自覚していかなくては行けない

コロナ交付金の効果検証までしているが、その中のWi-Fi環境整備補助金(小中学生の家庭向け)では、上限1万円で23万5千円の実績。その後の毎月の通信料金が発生することから、整備できない家庭もあるのでは？

コロナ交付金で、困っている人をみんな助けられたのか。自由に決められるからこそ、まだ続くコロナ禍の中でも、何をすべきなのか市民も一緒に考えていくべき。

一方、導入したデジタル事業を充実させることによって、他の事業を廃止して、予算を転換していく方法もあるのではという、財政課のかたのお話には、とても共感した

遅れていたデジタル化が一挙に進んだことは良かった。

分からないことを調べていくと、市のHPには情報がきちんと載っているが、必要な情報にたどり着くのが難しい。



行政に望むこと

知りたかったことについての的確に説明していただけてよかった。これからもいろいろ教えてほしい。

ホームページをもっと見やすくしてほしい。つくりがわかっていないと情報が探せない。

導入した技術を、これからどう活用していったらいいのか。本当に良いアイデアや活用例は、多くの場で共有して行ってほしい。

「君津の暮らしを考え隊」(問合せ先:Email kurashitai2022@yahoo.co.jp ↓)

Facebook ↓

当会は、暮らしの疑問を出発点に、君津市の財政状況について継続した学習と調査を通じて、君津市の実情を知り、市民が君津市と暮らしのこれからを考えられることを目的としています。
※知り隊ニュースのバックナンバーは市内8公民館にあります。



仲間を募集

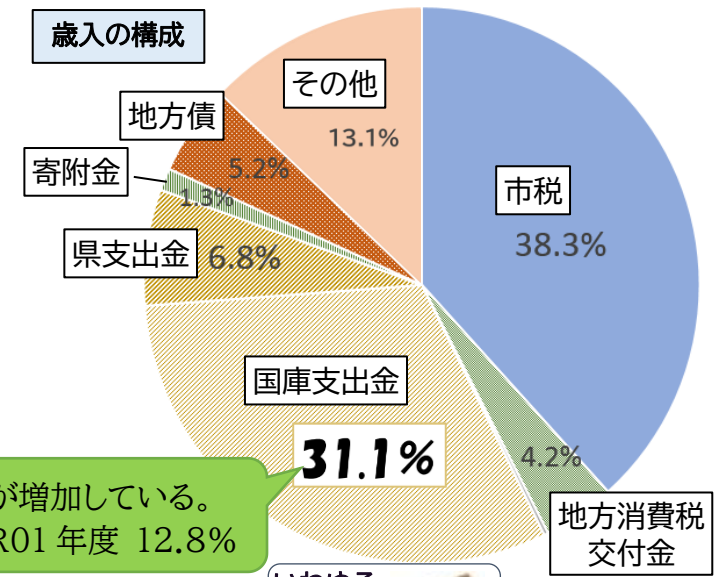
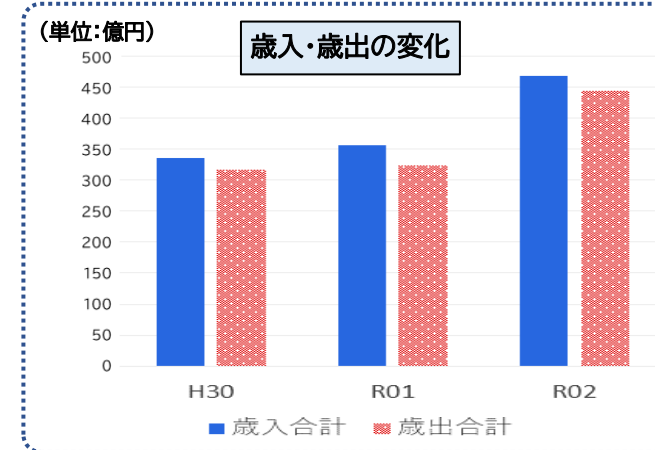


君津市の一般会計

コロナ禍でどう変わったか?

令和2年度の君津市会計決算書の公表にともない、一般会計について大塚先生に解説していただきました。歳入・歳出ともに大きく増額となり、平成13年(2001年)以降で最大となっています。

熊本学園大学大学院 会計専門職研究科教授 大塚成男先生
専攻は自治体財政での決算情報の活用方法。国や君津市等の多くの自治体で、財政運営や行政改革に関する委員を務める。



国庫支出金の割合が増加している。
H30年度 11.5% R01年度 12.8%

国庫支出金の内訳

(単位:円)	H30	R01	R02
国庫負担金	30億37百万	32億35百万	36億00百万
国庫補助金	8億18百万	13億15百万	109億30百万
委託金	17百万	15百万	19百万

いわゆる10万円給付

- ・特別定額給付金給付事業費国庫補助金:83億41百万円
- ・新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金:7億6百万円
- ・橋梁長寿命化事業国庫補助金:2億93百万円

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金とは

『まちづくりふれあい講座』とは市の職員による出張講座。市の事業や施策などを紹介する。

自由に使える交付金だからこそ使い道を見ていこうということで、『まちづくりふれあい講座』を利用して、財政課職員に説明していただきました。

目的

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するとともに、感染拡大の影響を受けている地域経済や住民生活を支援し地方創生を図るため、本経済対策の全ての事項についての対応として、地方公共団体が地域の実情に応じて、きめ細やかに必要な事業を実施できるよう、「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を創設

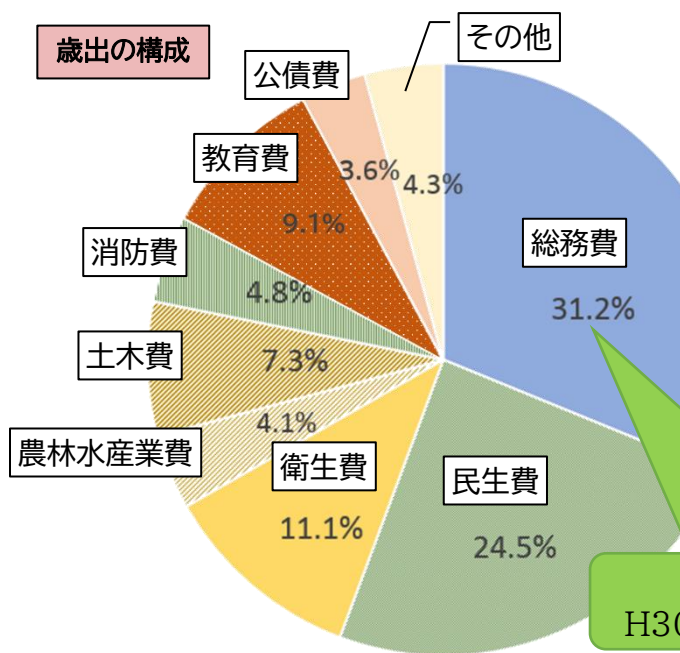
交付対象者

全国の都道府県・市町村

コロナ対応のための取り組みである限り、個々の自治体が自由に使い方を決めることができる。



君津市一般会計令和2年度決算について (大塚先生の学習会)



(単位:円)	H30	R01	R02	R01	R02
議会費	3億09百万	2億78百万	2億75百万	90.0	89.0
総務費	51億39百万	41億45百万	138億47百万	80.7	269.4
民生費	94億48百万	103億55百万	108億87百万	109.6	115.2
衛生費	37億00百万	38億98百万	49億15百万	105.4	132.8
労働費	47百万	32百万	40百万	68.1	85.1
農林水産業費	12億45百万	14億65百万	18億20百万	117.7	146.2
商工費	4億28百万	7億85百万	9億20百万	183.4	215.0
土木費	25億18百万	27億92百万	32億48百万	110.9	129.0
消防費	18億77百万	18億11百万	21億25百万	96.5	113.2
教育費	50億53百万	46億90百万	40億68百万	92.8	80.5
災害復旧費	59百万	3億49百万	6億70百万	591.5	1135.6
公債費	18億97百万	17億71百万	16億02百万	93.4	84.4
歳出合計	317億20百万	323億71百万	444億17百万	102.1	140.0

総務費の割合が増加している。
H30年度 16.2% R01年度 12.8%

H30年度を100.0としたときの割合

総務費の内訳

(単位:円)	H30	R01	R02
総務管理費	44億36百万	32億09百万	130億62百万
徴税费	3億66百万	5億50百万	3億91百万
戸籍住民基本台帳費	2億16百万	2億07百万	2億53百万
選挙費	82百万	1億40百万	68百万
統計調査費	11百万	12百万	46百万
監査委員費	27百万	27百万	27百万

主な総務費
・特別定額給付金給付事業 83億96百万円
・一般職人件費(総務管理費) 9億56百万円

「特別定額給付金給付事業(10万円給付)」には事務費(約50百万円)が含まれている。事務費も国の補助金で賄われているが、作業の労力は市が負担している。

民生費の内訳

(単位:円)	H30	R01	R02
社会福祉費	47億82百万	49億64百万	52億43百万
児童福祉費	33億01百万	37億82百万	41億06百万
生活保護費	13億65百万	15億20百万	14億73百万
災害救助費	0	90百万	64百万

主な民生費
・障害福祉サービス費支給事業 15億29百万円
・生活保護費 13億62百万円
・老人福祉費 13億20百万円
・後期高齢者医療費 10億81百万円
・児童手当給付事業 10億67百万円

社会福祉費、児童福祉費はコロナ以前から年々増加しているが、生活保護費は令和元年度に比べて減っている。

衛生費の内訳

(単位:円)	H30	R01	R02
保健衛生費	20億98百万	21億17百万	22億24百万
清掃費	16億02百万	17億82百万	26億91百万

主な衛生費
・国民健康保険特別会計繰出金 6億76百万円
・君津中央病院負担金 4億55百万円
・災害廃棄物処理事業 4億21百万円
・衛生センター整備事業 5億06百万円
・新型コロナウイルス感染症対策事業 26百万円

「国民健康保険特別会計繰出金」7億円弱。⇒保険料に加えて、市による税金からの支出も行われている。「災害廃棄物処理事業」⇒まだ、台風の後始末をしている。

教育費の内訳

(単位:円)	H30	R01	R02
教育総務費	4億68百万	5億55百万	6億65百万
小学校費	3億89百万	11億06百万	8億81百万
中学校費	6億33百万	11億53百万	6億33百万
社会教育費	8億01百万	8億30百万	8億88百万
保健体育費	26億40百万	9億09百万	8億51百万
教育センター費	1億22百万	1億37万	1億50百万

主な教育費
・幼児教育無償化事業 2億72百万円
・施設整備事業(小・中学校費) 5億40百万円
・スクールバス運行事業(小・中学校費) 1億54百万円
・校内通信ネットワーク整備事業(小・中学校費) 2億12百万円

H30年度の保健体育費には、君津市学校給食共同調理場整備事業約17億円が含まれる。

「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」

(まちづくりふれあい講座 講師: 財政課 見富貴浩氏)

◎既に決算が公表されており、分析のしやすい令和2年度についてご説明いただきました。

国の予算		市の予算	
国の予算措置(令和2年度)	本市への配分額	市の予算措置(令和2年度)	(令和3年度)
4月30日 第1次補正予算 1兆円	1億5,615.1万円	1億5,615.1万円	
6月12日 第2次補正予算 2兆円	4億9,880万円	4億9,880万円	
1月28日 第3次補正予算 1.5兆円	2億7,230.5万円 ※補助分含む	7,413.9万円	1億9,816.6万円
合計 4.5兆円 ※このほか予備費追加あり	9億2,725.6万円	合計 7億2,909万円	1億9,816.6万円 = 9億2,725.6万円
		Δ2,329万円	2,329万円
		7億580万円(令和2年度決算額)	2億2,145.6万円

令和2年度に約9億3千万円が国から交付され、令和2年度と令和3年度に分けて使うことにした。

令和3年度に実施する事業
令和3年度(1億9,816.6万円の使い道)

- ### 使い道の具体例
- ※I~IIIの分類は複数にまたがるものもあり、明確に分類されるものではありません。
- #### I 感染防止対策
- 感染症予防 ○コロナ相談専用ダイヤル運用費
 - 公共交通感染防止対策 ○非常災害時用備蓄品購入
 - 中小企業等感染拡大防止対策 ○消防団感染防止対策
 - トイレ手洗い場等自動水栓化等 ○感染対策用備品購入
 - 感染防止対策用備品等購入 ○常備消防感染防止対策
 - 君津市民文化ホール換気対策 ○文化芸術振興費補助金
 - 子ども・子育て支援交付金
 - 学校等PCR検査データ解析
 - 学校保健特別対策事業費補助金

- #### II 生活・事業継続支援等
- ひとり親家庭等への臨時特別給付金
 - 妊婦支援特別給付金 ○中小企業等事業継続支援
 - 子育て世帯への臨時特別給付金加算
 - 特急君鴨ライナー運行支援(君津・鴨川広域連携事業)
 - 社会福祉施設等事業継続支援
 - いきいき高齢者外出支援 ○医療関係団体支援金給付
 - 地域ポータルサイトを通じた消費喚起
 - みんなで元気に!ちばの「おもてなし」提供(観光協会育成補助金) ○修学旅行のキャンセル料等支援
 - 保育園保育料保護者負担金・公立保育園副食費【歳入】
 - 生活困窮者就労準備支援事業費等補助金
 - 障害者総合支援事業費補助金
 - 準要保護世帯高校進学等支援金

- #### III 社会的環境整備
- 家庭の通信環境整備 ○公立学校情報機器整備費補助金
 - 証明書手数料キャッシュレス決済の導入
 - 中小企業テレワーク導入支援補助金
 - ICT学習環境整備
 - テレワーク用遠隔操作システム構築業務委託

- インターネット接続系整備運営
- 新型コロナウイルスワクチン接種対策(75歳以上の高齢者に接種会場までのタクシー・バス共通利用券交付)
- 地域ポータルサイトを通じた消費喚起(「きみなび」クーポン)
- 中小企業等一時支援金給付(国が給付する緊急一時支援金に上乗せ)
- キャッシュレス決済を通じた消費喚起(ポイント還元)
- 観光協会育成補助金(特産品を送付一部補助)
- 図書館「知の拠点化」推進(電子書籍導入、IT環境整備)

知り隊ニュースNo.14でお知らせした、君津市独自の給付や支援金の財源は、全てコロナ交付金だと分かった。

大塚先生のコメント

今後を見越した予算編成だと思いました。交付金による事業にはまだお金がかかりそうなものも含まれており、色々な課から起案や対策が出されています。コロナ対策として始めたが、すぐには止められないものもあります。例えば情報機器は、ハードを入れたらそれを活用するソフトが後に必要になってきます。コロナ交付金を使った結果、将来の負担が生じる可能性もあります。対処方法は財政課だけでなく、市民も含めた市全体の課題としてとらえる必要があります。